



グローバル COE 物質科学イノベーション講演会

九州大学先導物質化学研究所物質基盤化学部門・教授である、成田吉徳先生が来学される機会に、以上の通り講演会を企画しました。

成田吉徳先生は、酸素に関連した錯体などの分野で、多くの国際的な業績を上げておられます。また、本年9月より文科省元素戦略プロジェクト『貴金属代替分子触媒を用いる革新的エネルギー変換システムの開発』の研究代表者を務めていらっしゃいます。先生の最近の研究内容について、興味深いお話が伺えるものと思いますので、多数ご参加下さい。

**演題： 生物に学ぶエネルギー変換反応：光合成水分解と
酸素還元**

講師： 成田 吉徳 教授

九州大学先導物質化学研究所・物質基盤化学部門

日時：2008年10月8日(水) 17:00～

場所：理学部7号館7-310室

共催：日本化学会北海道支部

要旨：

生物が行う化学と物理エネルギー間の変換は水と酸素の相互変換を利用している。これは今後の水素エネルギー社会の基本となる方法論であるが、この過程が4電子変換過程であることから人工的にはエネルギー的に最適な変換触媒が存在する訳ではない。そこで光合成酸素発生(水分解)と呼吸(酸素還元)を規範として、貴金属を用いない分子触媒研究について議論する。

連絡先：理学研究院化学部門 加藤昌子(内線：3817)